

広島市植物公園

見どころ案内

コスモス (キク科)

メキシコ原産の一年草で、日本には明治初期に本格的に広まりました。明治後期には全国に普及し、現在では秋を代表する花の一つです。ピンク、白、マゼンタ等の花が楽しめます。

展示会のご案内

- ◇ 展示資料館 (10/10~10/25) 野生きのこ展
- ◇ 展示温室 (10/10~10/25) サボテン展
- ◇ 園内全域 (10/17~10/25) 秋のグリーンフェア

ホトギス (ユリ科)

東アジアに分布していますが、固有種の多さなどから日本が原産と考えられています。

花の斑点が鳥のホトギスの胸の模様似ていることから名づけられました。

ダリア (キク科)

秋を代表する花の一つです。長い間をかけて品種改良が行われ、多種多様な色や大きさのものが作られました。

江戸時代に日本に渡来し、花の形が牡丹に似ていたため天竺牡丹と呼ばれていました。

ハイビスカス

アーノツティアヌス (アオイ科)

白い花弁と赤い花柱のコントラストが美しいハワイ原産のハイビスカスです。

ゴレンシ (カタバミ科)

果実の横断面が五稜星をしているところからスターフルーツとも呼ばれ、こちらの名前のほうがよく知られています。見た目が良いので現地ではサラダの付け合わせにしたり、砂糖漬けにして食べられています。

アルテルナンテラ (ヒユ科)

カラーリーフの代表的な植物です。花壇の縁取りや寄せ植えに多用されます。中南米原産で、現地では多年草ですが寒さに弱いため日本では1年草として扱います。

キジョラン (キョウチクトウ科)

関東以西に自生するつる植物です。冬になると実がはじけ、中から白い綿毛が出てくる様子を鬼女の髪に見立ててこの名前が付けました。

アサギマダラの幼虫の食草で、卵が産み付けられます

コバノフジバカマ

(キク科)

フジバカマに比べて草丈や葉が小さく、花色が濃いなどの違いがあります。

森のレストラン フジバカマと同じくアサギマダラが好んで寄ってきます。

ヤマナシ

ジュウガツザクラ (バラ科)

江戸時代に作られた園芸品種でこの時期に花を咲かせることからこの名前が付けました。

実際には春までぽつぽつ花を咲かせ、四月に一番多く花を咲かせます。

カリン (バラ科)

樹上に黄色い果実を付けています。完熟すると芳香があり、咳止めの効果があります。

生では食べられないので、果実酒やハチミツ漬けにします。

サルビア・レウカンサ (シソ科)

中央アメリカ原産のサルビアで、アメジストセージとも呼ばれます。紅紫色でビロード質の花穂がよく目立っています。

